

ジャルロイヤルケータリングにおける健康経営の取り組みについて

ジャルロイヤルケータリング株式会社
代表取締役社長 小田 卓也

1. 健康宣言

安全で美味しい機内食をお届けするためには、その担い手である社員とその家族の心身の健康づくりが必要不可欠です。私は健康経営責任者として社員が健康で明るく元気に働ける職場づくりを推進し、JALグループ企業理念にある「全社員の物心両面の幸福」を実現するために、以下の取り組みを行っていきます。

1. JALグループ健康増進施策「JAL Wellness」をベースに、社員・会社・健保が三位一体となり、健康に関する意識改革、行動変容を促し、自発的な健康維持・増進活動に取り組めます。
2. 健康診断100%受診は勿論のこと、健診結果をもとにした特定保健指導や医療機関の受診など、社員サポートを強化します。
3. 「生活習慣病」「がん」「メンタルヘルス」「禁煙対策」「女性の健康」を重点項目に置き、職場上司やWellnessリーダーを中心に各課題への打ち手を積極的に展開します。
4. 働きがいや満足度が高く風通しの良い職場環境づくりと働き方改革を推進し、社員のワークライフバランスを実現します。JRCが持続的に発展していくための原動力は人財です。社員一人ひとりが仕事を通じて成長を実感し、働きがいに満ち溢れ、豊かな人生を歩むことができるよう、私が先頭に立って健康経営を推進していきます。

JRCが持続的に発展していくための原動力は人財です。社員一人ひとりが仕事を通じて成長を実感し、働きがいに満ち溢れ、豊かな人生を歩むことができるよう、私が先頭に立って健康経営を推進していきます。

2. 健康経営推進体制



3. 健康課題と設定背景

健康課題	設定背景
生活習慣病	当社ではBMI25%以上の社員割合が29.6%(FY21実績)と高く、肥満対策を進めることで将来の生活習慣病罹患リスクの低減を図る。(FY25までに肥満率15%未満)
がん	定期健康診断で提供する肺がん、大腸がん検診の100%受診に加え、他のがんについてもリテラシー教育等を通じ自主的な検診を促すことで、早期発見早期治療に繋げる
メンタルヘルス	ストレスチェック100%受診、何でも相談室の設置などメンタルヘルス対策を充実させることにより、パフォーマンス向上(プレゼンティーズムの低減含む)を図る。
たばこ対策	当社喫煙率は男性34%、女性6.5%(FY21実績)と高く、重篤疾患罹患リスク低減のため禁煙対策は喫緊の課題であり、各種プログラムの会社負担や禁煙啓発活動を積極的に展開する。
女性の健康	当社女性社員376人の内、30代までの割合は50.8%を占めており、若年層でも罹患リスクのある女性固有の疾病対策は、健康経営の重大な課題の一つである。

4. 健康指標・就業関連・その他指標

5大 健康指標			2021年度	2022年度	前年比較	最終目標(2025年度)
生活習慣病	肥満率 ※BMI25以上を対象	社員	29.6%	27.7%	↑1.9%改善	15%未満
	特定健診受診率	家族	37.0%	33.3%	↓3.7%減少	75%
	特定保健指導実施	社員	72.9%	集計中	目標達成 ※2021年度実績	65%
がん	胃がん検査受診率	社員(35歳以上)	76.8%	83.3%	目標達成	70%以上
	大腸がん検査受診率	社員(35歳以上)	96.3%	98.9%	目標達成	80%以上
メンタルヘルス	高ストレス者割合	社員	8.1%	16.0%	↓7.9%増加	5%未満
たばこ対策	喫煙率	男性社員 女性社員	34.0% 6.5%	31.1% 10.6%	↑2.9%改善 ↓4.1%増加	20%未満 3%未満
女性の健康	乳がん検査受診率	女性社員(18歳以上)	19.2%	71.8%	目標達成	70%以上
	子宮がん検査受診率	女性社員(18歳以上)	19.2%	55.0%	↑35.8%改善	60%以上
	女性の痩せ	女性社員(34歳以上)	24.4%	24.8%	↓0.4%増加	20%未満

健康・就業関連・その他指標		2021年度	2022年度	最終目標(2025年度)
アブセンティーズム (健康問題による仕事の欠勤)	688人対象	0.9日	0.9日	0.6日
プレゼンティーズム (健康問題が理由で生産性が低下している状態)	561人対象 (回答率100%)	30.4%	27.1%	20.0%
ワークエンゲージメント 仕事に関連するポジティブで充実した心理状態 (活力 + 熱意 + 没頭)	561人対象 (回答率100%)	50.0	50.1	65.0
社員定着年数	平均勤続年数	8.7年	8.5年	10年
ライフスタイル(運動習慣)	全従業員平均	59.7%	59.2%	63%以上
ライフスタイル(休養が取れる睡眠)	全従業員平均	73.3%	64.1%	80%以上
ライフスタイル(適度な食べる速度)	全従業員平均	68.7%	72.3%	70%以上
ライフスタイル(適度な飲酒生活)	全従業員平均	86.4%	88.4%	90%以上

《測定方法》

・アブセンティーズム

欠勤届提出社員の全従業員平均(傷病を理由とした有給取得日数は未把握)

・プレゼンティーズム

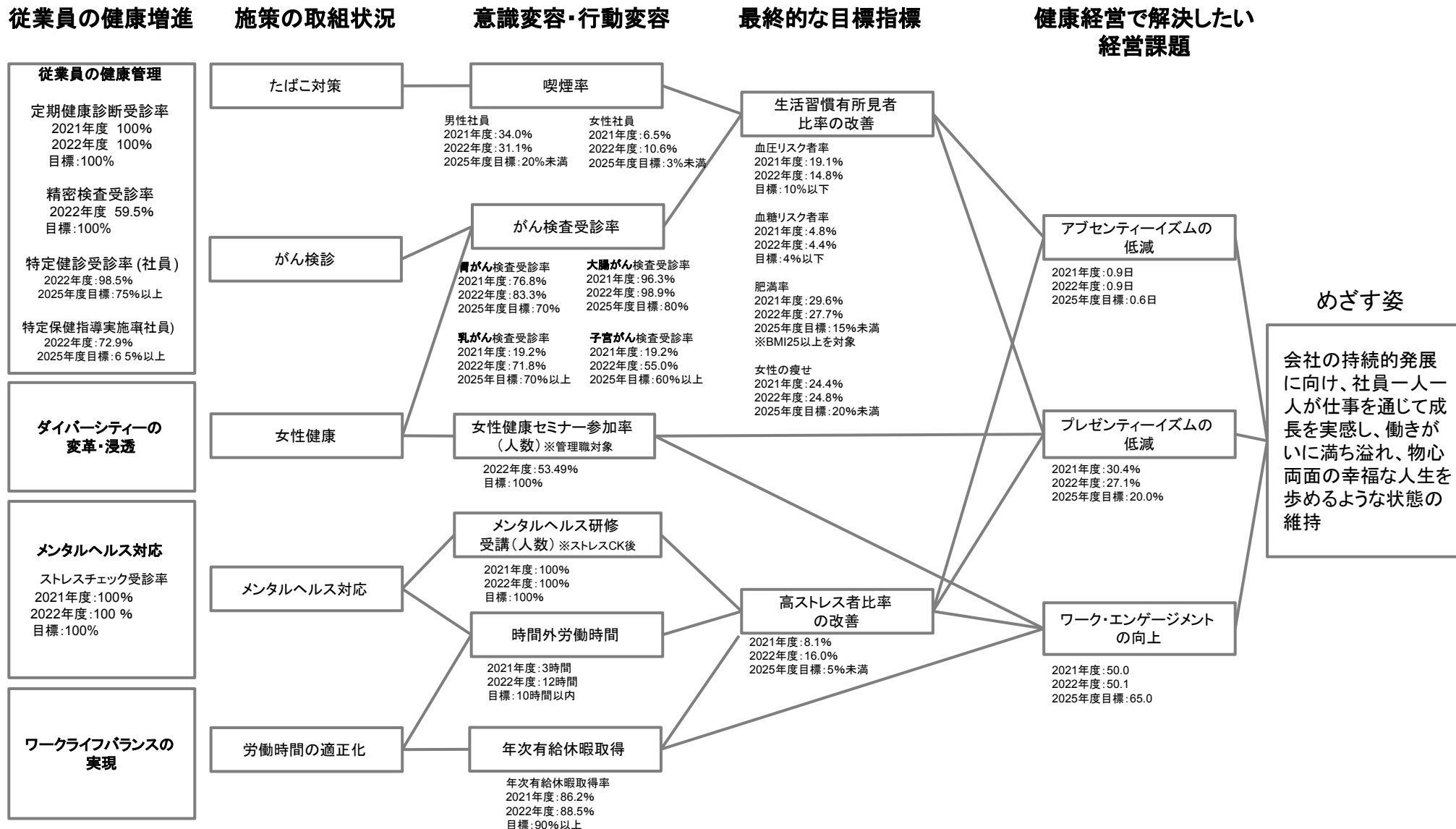
東京大学一項目版にて、パフォーマンスの発揮度合い(0~100)を用いた全従業員調査を実施。スコアは高いほど損失割合が高いことを示す。

・ワークエンゲージメント

ユトレヒトワークエンゲージメント尺度と相関の高い8項目を用いたベンダーオリジナル尺度で全従業員調査を対象とし測定。高いほど良好な状態。

5. 健康経営 戦略マップ(健康課題に対する指標と結果)

当社の健康経営戦略を策定し、ここに公開することにより、全社員の物心両面の幸福を追求し、企業価値を高め、社会の進歩発展に貢献していきます。



6. 健康経営 施策

(1) 健康経営の社内浸透(毎年 5月)

健康経営責任者から従業員に対して、JRC中期行動計画を発信(事業を支える基盤として健康経営内容を発信)

(2) 定期健診・任意検診・婦人科検診の実施(毎年 7月～9月) 検診等 投資額:6,389千円

- ①婦人科検診は、検診車を手配し社内にて定期検診と抱き合わせで実施
- ②各検診実施アナウンス時に必要性和受診促進を実施
- ③検診後は、要精密検査対象者及び特定保健指導対象者に対し、健康管理の重要性として各職場の責任者より受診勧奨と実施確認を実施

(3) Wellness活動の実施内容 機器設置・セミナー開催等 投資額:438千円

- ①JRC WellnessMTGの開催(Wellnessリーダーを中心に毎月1回実施)
- ②JRC Route(社内広報誌)にて健康に関する特集ページを掲載(隔月)
- ③健保主催のJALグループwellness関連MTGへの参加
 - ・Wellnessリーダー全体研修会(毎年5月)
 - ・Wellness評価会議(毎年7月)
 - ・WellnessリーダーMTG(年2回)
 - ・JAL Wellness施策検討会議(毎年12月)
- ④健康増進機器の設置
 - ・血圧計(2022年5月)
 - ・ぶら下がり健康器(2023年5月)
 - ・昇降式デスクの設置(2023年9月)
- ⑤Wellness週間-自分の身体を知ろう!-を実施(2023年8月)
 - ・血管年齢、ストレス測定器、体成分分析装置を期間限定で設置
 - ・外部講師を招いて「健康な身体づくり講座」セミナーを実施
 - ・社員食堂とコラボメニューを考案しヘルシー小鉢(脂質制限/貧血対策/高血圧予防)の提供

(4) 社員食堂発信の食からの改善活動

- ①ヤクルト製品の販売 一腸内環境を整え、免疫力を高め、感染症予防(2021年4月～)
- ②ロカボクッキーの販売 糖質の摂取をゼロにせず、ゆるやかに糖質摂取(2023年4月～)
- ③社食の味噌汁に減塩味噌を使用、またフリー使用調味料として減塩醤油を提供(通年)
- ④定食の米を選択する際、白米の代わりに雑穀米の選択も可能とした(月4回程)
- ⑤ヘルシーメニュー定食

(5) 喫煙率低下に向けた禁煙活動

- ①WEB禁煙プログラムへの参加促進、及び費用補助(通年実施)
- ②スワンスワンデーにおける禁煙勧奨(毎月22日)
- ③世界禁煙デーにおける終日禁煙実施(毎年5月)
- ④就業時間内禁煙の継続(通年)

(6) 従業員へのメンタルヘルス対応 カウンセリング費用等 投資額:3,179千円

- ①メンタルヘルス不調予防として、ストレスチェックの実施(9月)※結果に基づき、産業医面談及びカウンセラー面談を実施
- ②外部保健師等によるカウンセリングとして「なんでも相談室」を開催(毎月)
- ③社内ハラスメント窓口の設置(通年)

(7) 健康リテラシーの実施内容

- ①体調を整える食事について(実施率 100%)※e-learning
- ②ヘルスリテラシーベーシック研修(実施率 100%)※e-learning

(8) 各施策の満足度調査

